

もりの隆

かわら版

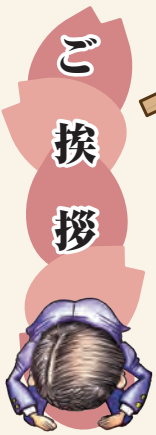
第3号

発行人 森野 隆

愛知郡愛荘町愛知川744-1

TEL 0749(42)6074

FAX 0749(42)5574



桜の花も散り、青い空に鯉のぼりが泳ぐ季節となりました。日頃は、格別のご支援を賜り、誠にありがとうございます。

この度の愛荘町議会議員一般選挙におきまして、無投票で当選させていただきました。しかし、いわば「不戦勝」であり、住民の皆さまから「選んでいただいた」訳ではありません。これまでの町議選投票率をみますと、2006年76.70%、2010年63.68%、2014

年58.42%、2018年57.95%と、回を追って低下しており、遂に今回、合併後初めて無投票となりました。

「議員を選ぶ権利を行使できず、極めて残念だ」「町政に対する関心が薄れた」との厳しいお声をいただきました。この事実を片時も忘れず、謙虚に誠意、住民の皆さまのために頑張りたいと存じます。

また、今年度は愛知川区の区長を拝命することになりました。自治会の代表として、皆さまからご意見やご要望など生のお声をいただく機会が増えます。区

長総代会へ出席することによって、愛知川区だけでなく、町内53自治会が抱えている課題を知ることができます。

町議会議員、区長、そして印刷屋のオヤジ、三足の草鞋を履くことになりましたが、その草鞋を履くのは森野隆という「一人の住民」であることを忘れることなく、皆さまのために微力を尽くす覚悟でございます。

これからも力強いご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



3月定例会のご報告

(1) 主な議案

3月7日に令和4年第1回臨時会が開催され、議長に村田定議員、副議長に村西作雄議員が選出されました。また、総務産業建設、教育民生、広報の3常任委員会および議員運営委員会、予算・決算特別委員会の委員等も選任されました。詳細は、町HPの「町政・町議会」↓「委員会名簿」をご覧ください。

連する経済対策や環境整備として、地域のきずなづくり支援事業やテレワーク環境整備に予算を付けたことは評価できます。また、米価下落への農家支援策として、1俵当たり1000円を支給する修正動議に賛成し、可決しました。

3月定例会は3月10日から24日の15日間、開催されました。上程された議案の中でも最も重要な令和4年度一般会計予算（補正後）は総額113億7238万円、前年度比11.1%増と合併以降で最大となりました。歳出面では、新型コロナウイルスに

一方、歳入面では、町の貯金とも言える「財政調整基金」を8億530万円取り崩すため、年度末の残高は約16億円（R2年度末約21億円、R3年度末見込みは約24億円）と大幅に減少します。また、毎年決まって必要な「支出」が、自由に使える「収入」の中で、どのくらいの割合を占めるかを示す「経常収支比

率」（R2年度末91.9%）も高い水準が続きます。

予算案は、愛荘町の1年間に おける収入と支出の見積りであり、どのようなことに税金が使われるかを具体的に示すものですが、住民の皆さまは新聞の「滋賀版」に小さく載った記事でしか知ることができません。行政は毎年、広報あいしゅう5月号に、決定後の予算を細かい数字と専門用語を使って説明していますが、私たち議員にとっても難しい内容を、皆さまにどれだけ理解していただけているのか、甚だ疑問です。新聞を通して情報を提供することも一つの方法ではありますが、せっかく町のHPやYouTubeがあるの



3 「議員である前に住民である」ことを忘れずに、身を慎んで自己研鑽に努めます。

- 皆さまの中に自ら飛び込んで話し合いを重ね、悩みと望みを汲み取りながら議論し、時には皆さまに訴え、時には皆さまをリードしていけるよう、暮らしの現場を見て、生のお声を謙虚に聴きます。
- 「まちじゅう読書の宣言」を掲げる愛荘町の議員として、もっと本を読んで、知識を増やし、思考力と想像力を養って、人間力を高めます。



3つのお約束

1 「住んでよかった、これからも住み続けたい」と思えるまちづくりを目指します。

- 「住んでよかった」と思えて初めて「愛着と誇り」が生まれるのです。特に、次代を担う若い世代の方々に「これからも住み続けたい」と思ってもらえる愛荘町にしなければなりません。
- 具体的には、①町内で過ごす時間が多い子どもや子育て中のお母さん、障がいをお持ちの方やご高齢の方が、安全・安心に暮らせる環境の整備 ②麻と農業と観光資源を活かした、持続性がある稼げる地域経済の活性化 ③自然災害や感染症に対応できる危機管理体制の拡充 ④通学路の安全や高齢者の移動手段の確保 ⑤地域の困りごとの解決 ⑥自治会活動の維持 などに取り組みます。

2 皆さまに、まちの現状と課題をお伝えし、皆さまから、ご質問・ご意見・ご要望をいただいて、町政に反映します。

- 議会も行政も住民の皆さまへの奉仕者です。議員14名全員が、よりよいまちの実現を目指し、住民とともに心をつなげて、力を合わせて働くべきです。議会や行政の常識が住民の皆さまの常識とかけ離れてはなりません。
- 議会や行政で議論されていることを皆さまにタイムリーにお知らせし、町政について今まで以上に興味を持っていただくために「もりの隆 かわら版」を随時発行します。
- また、皆さまのご意見を町政に届けるために「もりの隆 ご意見箱」を常設します。電話でもメールでもお手紙でも結構ですので、ぜひお声を聴かせてください。

です。今後、予算・決算に関する情報提供の方法について、担当課と改善策を研究して参ります。また、予算の執行については、経年変化で薄くなった中山道の白線の引き直しやヒビ割れの補修など、皆さまの身近なご不便の解消に無駄なく使われるよう、担当課に積極的に働きかけていきます。

(2) 一般質問

一般質問は3月17、18日に実施され、議長を除く議員13名のうち10名が登壇しました。議員別の質問内容は、町HPの「町政・町議会」↓「一般質問一覧」でご覧いただけます。

私は関連資料を十分読み込み、データを分析した上で、次の3点について根拠を示して質問しました。

① 全国学力・学習状況調査結果と「読む力」の向上策について

広報あいしろう（2019：12、21・12）の記事に基づいて、学びの基礎となる「読む力」が小中学校で大きく低下していることを示し、「まったく読書をしていない」子どもが小学校で3割、中学校で6割に上っていることが原因ではないかと指摘するとともに、「まちじゅう読書」を宣言している町として、子どもも大人も読書の習慣を付ける施策を進めるよう提案しました。

教育長は、今日までの取り組みや課題の検証・総括を行い、新たに5年間のアクションプラン

② 「第2次総合計画（後期基本計画）のための町民アンケート調査」の目的と内容について

2月上旬、無作為に抽出された18歳以上の2000名を対象に配布された「第2次愛荘町総合計画（後期基本計画）」にかか

る町民アンケート調査」について、「第2次総合計画」と、5



教育委員会が示す「未来を拓く愛荘 16 年教育」構想

月に住民の意見聴取（パブリックコメント）が予定されている「愛荘町まちづくりランドデザイン2040」との関連およびコンサルへの委託費用を尋ねました。

「画」は長期的な展望のもと町が目指すべき将来像を示し、その実現に向けたまちづくりの進め方を定めたものであり、長期的な将来を見据えた魅力ある愛荘町を創造していくための「構想」として、まちづくりの方向性等を分かりやすく具体的に示す将来ビジョンである「ランドデザイン2040」とは位置づけが異なると、極めて分かり

③ 新型コロナウイルスワクチン接種率の推移と情報公開について

ワクチン接種を進めるためには住民の理解と協力が必要との観点から、①町が公表している

接種率の算出方法②3回目接種の目標接種率および完了予定時期③接種率の推移や住民の不安解消のための情報公開の必要性を訴えました。

ワクチン接種推進室長は、①町は「接種対象となる人数」に

たかし「くじ引き」



最近、「くじ引き民主主義」（吉田徹著、光文社新書）という本を読みました。

著者は「地方議員の「なり手不足」と「投票率の低さ」は、地方政治における代表制民主主義が、もはや立ちいかななくなっていることを示している」と喝破し、「地方議会での無投票の割合は、これから増える一方だろう」と予想しています。

「なり手不足」は議員の高齢化の一因です。実際、愛荘町

日から6か月後の6月初旬と見込んでいます。③接種率は定期的に更新すると答弁。

健康推進課長は、③自宅療養者の家庭での過ごし方や抗原検査の受け方等に関する情報をHPに上げており、今後も住民の不安解消に努めていくと答弁しました。

時間の制約もあり、必ずしも満足できる答弁をいただけませんでした。今後関係各課に出向いて話し合い、前向きな対応を引き出して参ります。なお、一般質問を含む本会議の様子は、町HPの「町政・町議会」↓「録画配信」から、スマホやPCで視聴できます。ぜひ一度ご覧ください。よろしくお願いいたします。

（R4・4・1現在）と、改選前の71・9歳（R3・12・31現在）に比べ3.5歳若返りましたが、議員14名のうち、私も含めて13名が60歳以上となっています。因みに、やや古い数字ですが、2015年の国勢調査によりますと、愛荘町住民の平均年齢は42・2歳で、県下19市町のうち、栗東市（40・0歳）、草津市（41・7歳）、守山市（42・1歳）に次いで第4位の若さです。

また著者は、議員に立候補できるのは一部の人に限られるという「不平等感」や、議員は次の選挙のことを考えて行動するのではないかと、「不信感」を解消するためには、一般住民から無作為に抽出して選ぶことによって、半ば強制的に議員への道を開く「くじ引き民主主義」も一つの方法であると述べています。

その考えの是非はともかく、今回の町議選が無投票に終わって我が愛荘町にあてはまる部分もあるのではないかと思います。「くじ引きで選んだ方がマシ」と皆さまから言われないように、議員の心得を守って精進しなければと、決意を新たにしました次第です。

これからも、温かいご支援とともに、厳しいご意見・ご要望をお寄せくださるよう、心からお願い申し上げます。

ご意見・ご感想・ご要望はこちらまで

UD FONT 見やすいユニバーサルデザインフォントを採用しています。



みんな、いっしょに



ご意見はこちらから

たかし もりの隆を育てる会

愛知郡愛荘町愛知川 744-1

TEL : 0749-42-6074 FAX : 0749-42-5574 携帯 090-3355-4319 ・ takashi0705@icloud.com

